

# 夢見るホッケー教室

supported by  損保ジャパン



## In 青森 実績報告書

趣 旨 青森県の小・中学生、高校生、一般のホッケー選手に対して競技力向上とホッケー競技の普及のため、ホッケーオリンピックより、ホッケーの楽しさを伝えると共に世界に羽ばたく選手の育成につなげる。  
また、市内の小・中学生に対し、コロナ禍のためスポーツをする機会が減少している状況を踏まえて、改めてスポーツの楽しさを伝える。

主 催 (公社) 日本ホッケー協会

主 管 青森県ホッケー協会

期 日 ①令和4年7月2日(土) 9時から15時 小学生、一般の部

②令和4年7月3日(日) 9時から12時 中学生、高校生の部

場 所 青森県三沢高校人工芝G

参加者 ①木崎野小学校、岡三沢小学校 (23名)  
一般 (12名)

②堀口中学校、第一中学校 (10名)  
三沢高校 (30名)

来 賓 青森県ホッケー協会会長 (青森県議会議員)  
小比類巻 正規 様

講 師 真野 由佳梨 (リオ・東京オリンピック代表)  
冨田 恭平 (J-STAR プロジェクト副実施責任者)

その他 新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで実施する。

担 当 青森県ホッケー協会 専務理事 内野 主税  
常任理事 佐藤 純一



【教室内容】

○令和4年7月2日(土)

小学生・一般の部

10:00 開校式

10:15 w-up アクティビティ

10:45 スキルトレーニング

- ① シュート
- ② パス&レシーブ
- ③ ドリブル (認知・判断 TR)

12:00 お昼休み

13:00 w-up アクティビティ

13:30 ゲーム

- ・こども v こども
  - ・大人 v 大人
- (各3ゲームずつ)

\* 講師も一緒にゲームに参加

親もこどもも一緒にホッケーを楽しむ

14:30 質問タイム

14:50 閉校式

○令和4年7月3日(日)

中学生・高校生の部

9:00 開校式

9:15 w-up アクティビティ

9:30 スキルトレーニング

- ① シュート
- ② ドリブル (認知・判断 TR)

10:45 ゲーム① (歩く)

ゲーム② (黙る)

ゲーム③ (喋る)

ゲーム④ (通常ルール)

\* テーマ：コミュニケーション

チームごとにMTG、フィードバックを行う

たくさん喋って感じたことを伝え合う

12:00 終了

【所感】 青森県ホッケー協会(佐藤純一様)筆

今回、当協会といたしましては主に未経験者や小学生を中心に教室開催を希望しておりましたが、中学生・高校生・社会人も教室に参加し、誰もが笑顔で楽しみながらお教え頂けたことは非常に有意義であったと感じております。

富田講師は小学生や初心者の心理特性に配慮され「失敗を恐れない、失敗をマイナスに感じさせない」という視点が、我々指導者たちの常識を変えて頂くきっかけとなりましたし、子どもたちが自ら考えて行動するように促す方法やポイントなど、非常に多くの優位な情報を頂きました。

真野講師は、シュートに対する技術指導を頂きアクションの性格かつ素早さに子どもたちは驚嘆し、オリンピックのカリスマ性も相まって、教室終了後は臨時のサイン会を催したほど盛況でした。真野講師のようなオリンピック選手の影響力を改めて痛感いたしましたし、オリンピックレガシーとも言える存在の方々が、弱小県である青森にも来青頂けたことに、保護者や子供たちもより高い目標をもってホッケー競技を行う希望となったものと感じております。

夢見るホッケー教室が各県において開催されておりましたことは SNS 等を通じて理解しておりましたが、実際に教室を体験しなければこれほどの感動と効果を体感することはできないとも感じました。

今後とも青森県のような、これからホッケーの普及が広まるような地域へのご支援を賜りますようお願いいたします。



